

**平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業(経常事業))**

事業の概要	事務事業名	自転車等駐車場管理事業						担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計						担当課	都市政策課			
	事業期間	平成12年度以前			~	平成31年度以降			担当係	交通政策係		
	基本施策・展開方向	6	都市基盤		22	都市交通		1	より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します			
	予算区分	款	2	項	8	目	3	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市自転車等の放置の防止等に関する条例、小牧市自転車等の放置の防止等に関する条例施行規則										
	目的	何・誰を対象に	市内自転車等駐車場の利用者を対象									
		どのような状態にするのか	自転車等駐車場を利用しやすいように管理する。									
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成29年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自転車等駐車場整理等委託 自転車等駐車場を利用しやすくするため、整理、清掃、放置自転車撤去等を委託したものの。 対象：市内自転車等駐輪場11箇所 委託者：小牧市シルバー人材センター 放置自転車撤去台数：589台</li> <li>防犯カメラ保守管理業務委託 自転車駐車場の治安確保のため、防犯カメラが正常に動作するよう保守管理を委託したものの。 対象：市内自転車等駐車場8箇所 委託者：教育産業株式会社</li> </ul> <p>◆平成29年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費・・・121千円</li> <li>印刷製本費・・・50千円</li> <li>光熱水費・・・680千円</li> <li>修繕費・・・416千円</li> <li>手数料・・・34千円</li> <li>委託料・・・13,791千円(自転車等駐車場管理委託料13,062千円、自転車等駐車場設備保守管理委託料729千円)</li> <li>使用料及び賃借料・・・1,273千円</li> </ul> <p>◆平成30年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費・・・150千円</li> <li>印刷製本費・・・50千円</li> <li>光熱水費・・・879千円</li> <li>修繕費・・・399千円</li> <li>手数料・・・94千円</li> <li>委託料・・・14,394千円(自転車等駐車場管理委託料13,675千円、自転車等駐車場設備保守管理委託料719千円)</li> <li>使用料及び賃借料・・・1,303千円</li> </ul>										
	受益者負担	無										

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額	
事業費	直接経費	千円	18,224	16,254	16,003	16,365	17,269	
	正職員	従事者数	人	0.25	0.50	0.30	0.20	0.45
		人件費	千円	1,872	3,743	2,246	1,497	3,369
	その他職員	従事者数	人	0.10	0.20	0.30	0.30	0.20
		人件費	千円	141	270	410	420	325
	費用合計		千円	20,237	20,267	18,659	18,282	20,963
	対前年比		%	-	100.1	92.0	97.9	114.6
財源	一般財源	千円	20,237	20,267	18,659	18,282	20,963	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	0	

業	成果指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	放置自転車撤去台数	台	目標	—	—	—	—
実績			810	527	525	589	
		目標					
		実績					
績	活動指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	駐輪場の不足台数	台	目標	—	—	—	—
実績			129	152	0	62	
		目標					
		実績					

事業の評価	平成29年度	事業の達成状況	市内11箇所の自転車等駐車場について年間を通して整理業務等を委託し、放置自転車については、589台撤去して自転車等駐車場の管理を行った。						
	平成29年度	事業実施における課題	名鉄小牧線沿線の区画整理事業による居住者増加により、鉄道利用者が増加している。そのことから、自転車等駐車場の利用者が増加しており、時期によって自転車等駐車場の不足が生じている。						
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	各自転車等駐車場の整理業務や、維持管理にかかる点検業務は引き続き必要である。また、駐輪場の不足台数の解消を図っていくため、放置自転車の撤去回数を例年の年3回から年4回に回数を増やす。						
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	87	千円	予算区分	13	節	節
平成31年度以降	判定理由・削減内容	当該事業は、自転車等の整理や放置自転車の撤去を行うことにより、自転車等駐車場を利用しやすいよう管理を行うものであり、引き続き実施が必要である。ただし、防犯カメラ保守点検委託について、一部業務内容の見直しにより削減が可能であることから87千円事業費を削減する。							
平成31年度以降	31年度以降の実施内容	各自転車等駐車場の整理業務や、維持管理にかかる点検業務は必要であることから、引き続き実施していく。							